

# 誰もが人間として尊重され、健康と安全が守られる職場」の実現をめざし、人間らしく働けるルールを確立しよう！

## 川重で働く労働者のみなさんへ

毎日のお勤め「苦労様です。いま職場では、契約更新のたびに不安で眠れない」「山ほどの仕事量でしょっちゅう午前様だ」「60歳になったからといって4割も給料をカットされた」…などの声がよく聞かれます。労働災害やメンタルヘルス障害も深刻です。技術技能の伝承も危ぶまれています。単価の切り下げで下請け業者からは悲鳴があがっています。

あまりにも「収益性の向上」「コスト削減」が優先されています。これでは労働者と会社の未来がたいへん心配です。人間らしい労働、人間らしい生活がきずかれてこそ、よい仕事ができるし、企業も発展するのではないでしょうか。

川崎重工委員会は、人間らしく働けるルールとして以下の提案を行うとともに、川重で働く労働者の皆さんが、ともに考え、ともに力をあわせることを心から呼びかけます。



**日本共産党  
川崎重工委員会**

**はぐるま** 2010年6・7月号外  
日本共産党川崎重工委員会の見解を紹介します  
ご意見やご感想をお待ちしております

「使い捨て」労働をなくし、「雇用は正社員が当たり前」に

誰もが人間として尊厳をもって働く権利を持っています。人間を景気の「調整弁」として使う非人間的な「使い捨て」労働は許されません。

労働者派遣は臨時的、一時的業務に限定し、「雇用は正社員が当たり前」に。非正規社員に正社員への道を積極的に開く。

違法「サービス残業」を根絶し、長時間労働の是正を

労働時間の短縮は、人間らしく生き、人間的に成長する上で一番の基礎となる問題です。人間生活としての時間を奪い、体力を消耗させる長時間労働は是正しなければなりません。ましてや、「サービス残業」は、犯罪行為であり許されません。

上級専門職や裁量労働制の労働者も含め、ICカード等による始業・終業管理を。

時間外労働の限度をさしあたり左表の時間まで引き下げる。

労働省公示第154号

期間	時間外労働限度時間	時間外労働時間
1週間	15時間	時間外労働時間
2週間	27時間	時間外労働時間
4週間	43時間	時間外労働時間
1箇月	45時間	時間外労働時間
2箇月	81時間	時間外労働時間
3箇月	120時間	時間外労働時間
1年間	360時間	時間外労働時間

賃金カットや抑制をやめ、人間らしい生活ができる賃金を

すべての労働者と家族は、健康で文化的な生活を営む権利を持っています。非正規社員は年収200万以下の人も多く、高齢者は大幅な賃金カット。子育てやローン返済などがままならない状況に追い込まれています。

正規・非正規、関連企業の労働者も含め、八時間労働でまともな生活ができる賃金を。

労働者の命と健康を脅かすTAR GETなどの成果主義を改め、専門性と経験度を正當に評価する賃金制度に。

年齢・性別や雇用形態に関係なく、「同一価値労働同一賃金」の均等待遇にする。

「利潤第一」の生産計画をやめ、安全・安心で働きやすい職場環境を

労働者は、安全かつ快適な職場環境で働く権利を持っています。セクハラやパワハラ、労働災害や過労死もない、なによりも人間の命が大切にされる職場環境の実現は企業の義務です。

罰則や自己責任追及の安全対策を改め、十分な「欠勤率」と「余裕時間」をくみこんだ要員で無理のない工程を。(ドイツなどでは「欠勤率」を15%の計算で要員計画、日本では5%程度が普通。)

請負・派遣労働者も含め、事業所で働くすべての労働者に会社の責任で安全教育の強化を。技術の伝承とともに安全の伝承に取り組む。災害の危険性が極めて高い混在作業を原則中止に。

女性差別をなくし、雇用における男女平等の実現を

誰もが性別を受け入れることなく平等に働く権利を持っており、母性の保護は真の男女平等を実現する前提です。女性の賃金は、男性の6割程度で、派遣社員はさらに深刻です。出産・育児の職場環境はきびしくなるばかりです。

女性の「昇進・昇格の差別」を是正する。

「男女平等」を逆手にとった女性の深夜・長時間労働を禁止する。

非正規の女性も含め、産休や育児休暇の拡充、勤務時間の短縮などで、安心して仕事も子育てもできる労働条件に改善する。

コンプライアンス違反をやめ、社会的責任を立派に果たす企業に

会社は、コンプライアンスの厳守は当然のこと、社会的存在にふさわしく社会的責任を果たす必要があります。国民の血税を食い物にする談合や金権腐敗政治の温床である政治献金などはとんでもありません。

最大の景気対策である雇用拡大と非正規労働者の正社員化を。

地域経済を活性化させる中小企業の下請け単価の引き上げを。



# くらしと権利をまもる「ルールある経済社会」をつくろう アメリカと財界にモノ言える党の前進を!

## 志位委員長が訪米 日本国民の声つたえる

NPT議長と会談  
核兵器廃絶交渉開始の合意を  
米政府と会談  
普天間基地は無条件撤去を

## いま共産党に注目 漫画家のやみつるさんは語る

(沖縄の普天間基地問題について鳩山元首相は)「最低でも県外」と公約していたのに、なぜ、国民の思いをアメリカに伝えられないのか。非常な物足りなさいらだちをいま国民は感じているんです。そのときに、日本共産党の志位委員長が訪米して、米政府に「移転先はない。無条件撤去を」と伝えた。これは非常に意義のあることだと思います。



メア国務省日本部長と会談する志位委員長

日本共産党  
川崎重工委員会

くらしを支え、生存権を保障する社会保障制度に  
後期高齢者医療制度と障害者自立支援法を廃止する。  
子どもと高齢者の医療費を無料にする。  
認可保育所の抜本的増設など総合的な子育て支援をすすめる。  
高校授業料の無償化と大学の「世界一の高学費」を軽減する。

中小企業を日本経済の「根幹」にふさわしく支援する  
企業数の99%、雇用の7割を支える中小企業を守るために、中小企業予算の1兆円増額や家賃・リース料などの固定費補助の緊急支援などをすすめる。  
下請け単価の買いたたきや一方的な発注中止・変更などの無法をやめさせる。

人間らしく働けるルールをつくり、安心して働き続けられる社会に  
大企業に雇用への社会的責任を果たさせ、無法な「非正規切り」やリストラ、雇用破壊をやめさせます。  
労働者派遣法の抜本改正(製造業派遣の禁止、登録型派遣の原則禁止)で正社員が当たり前の社会にする。  
「サービス残業」を根絶し、残業の上限を法律で制限する。残業代の割増率を50%にする。  
「同一価値労働同一賃金」の均等待遇を法制化する。  
最低賃金を時給1000円以上に引き上げ、くらしと地域経済の底上げをはかる。

日本は、国際労働機関(ILO)で採択した1号条約(8時間労働制)をはじめとする18本の労働時間・休暇関係の条約を1本も批准していません。長年にわたり、異常な財界・大企業中心の政治がつづいてきた結果、主要7カ国のなかで、日本だけが「成長の止まった国」「国民が貧しくなった国」になってしまいました(下のグラフ)。  
このまま、非人間的な働き方を放置するならば、日本社会の前途が危うくなります。  
日本共産党は、くらしと権利をまもる「ルールある経済社会」への改革こそ、日本経済が、今日の経済危機から抜け出し、家計・内需主導で安定的に成長する確かな方策と考えています。  
そのためには、財界に堂々とモノが言える政党「日本共産党」が伸びるのが一番です。



## 大企業減税の穴埋めの消費税10%増税許しません

消費税は何よりも所得の少ない人に重くのしかかる最悪の不公平税制です。一世帯16万円の負担増。

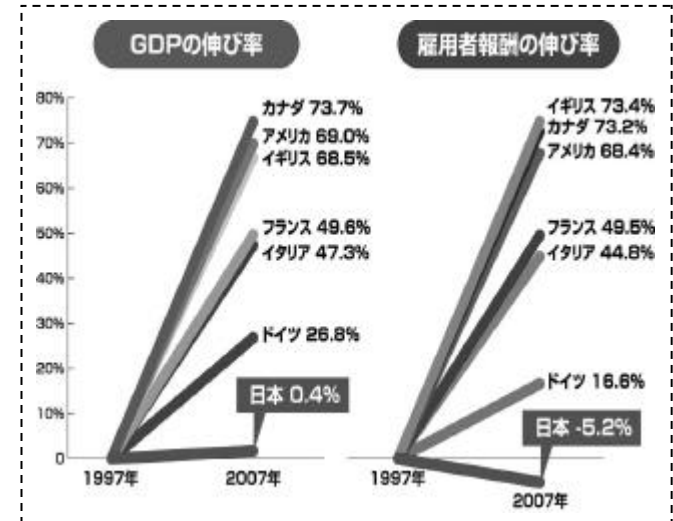
## 日本共産党の財源案

軍事費を1兆円けずり、ムダな大型事業を廃止する。年間3370億円の米軍への「思いやり予算」は撤廃します。  
大企業・大資産家に経済力に応じた負担を求める。現在10%の証券優遇税制をまず20%に戻す。大企業がため込んだ内部留保229兆円を雇用と中小企業など社会に還元する。

## ILO労働時間関連条約批准一覧

(注) は批准

	8時間労働制	週休	有給休暇	婦人夜間労働	パート労働
ベルギー					
スペイン					
ドイツ					
フランス					
イタリア					
アメリカ					
日本					



困ったときの110番 お気軽にご相談ください

TEL: 341-3235 FAX: 341-3236 メールアドレス: spum69u9@pony.ocn.ne.jp